**２学年　道徳検証授業③　学習指導案**

日時 令和２年７月８日（水）１校時

対　象　２年3組 男子20名女子20名計40名

授業者　仲 原　英 孝

**１**主題名：「自分の弱さの克服」　内容項目：【よりよく生きる喜び】Ｄ－（22）

資料題名：「自分の弱さと戦え」（中学校道徳　あすを生きる２　日本文教出版）

**２　本教材で育成したい資質・能力**

「弱さ」について多面的に考え、自他の「弱さ」について自覚し、「弱さ」との向き合い方を自分なりに見つけようとする態度を育む。

**３　指導内容について**

　　　人間はだれでも、自分に自信がもてなかったり、劣等感に悩んだりすることがある。欠点や弱点のない人間はおらず、ありのままの人間は、けっして完全なものではない。誰の心の中にも弱さや醜さがある。しかしながら、同時に、人間はその弱さや醜さを克服したいと願う心ももっている。ここでいうよりよく生きる喜びとは、自己満足ではなく、人間としての誇りや深い人間愛である。このような体験を経て崇高な人生をめざし、同じ人間として共に生きていくことへの深い喜びを育成することにつながる。

**４　生徒の実態について**

　　　生徒はこれまでに、様々な経験のなかで大なり小なり、失敗や挫折を経験している。また、コロナ禍のなかで、「よりよく生きる」ことが、「対自分」「対他者」「対社会」という様々な面でより強く求められる。そうしたなかで、「第１回教育相談アンケート」から、休校期間に課題をせずに過ごしてしまったことへの後悔がある生徒が半数程度みられた。そうした後悔から「学力の低下、進路への不安」へと意識が向いていると思われる。生徒は、「休校中の課題から逃げる弱さをもつ自分」をまざまざと見せつけられた。こうした状況下で、「弱さ」と向き合い、どう付き合うかを自分なりに考えること重要である。また「弱さ」とは何かを考えさせ、多面的に「弱さ」について自覚させることで、「弱さ」とどう付き合いながら今後の人生を送っていくか考える態度を育てたい。

**５　本教材について**

　　　本教材は、車椅子テニスで活躍する主人公・国枝慎吾さんを取り上げて、より高い目標に向かう意欲を持たせる内容である。国枝さんを扱うとなれば、障がいを克服し車椅子テニスで世界ランク１位まで上り詰めた「克己と強い意志（不撓不屈）」に焦点を当てがちだが、本教材はその点よりも、より高度な向上心に着目して編集されている。つまり障がい者のスポーツというよりも国枝さんの取り組むスポーツが車椅子テニスであったという点が大きい。そのうえで、世界１位にたどり着くまでと、その後の「自分の敵は自分」という崇高な境地に気づかせたい。

**６　本時のねらい**

「弱さ」とは何かを考え、自らの「弱さ」とのつきあい方を考えることで、自他の「弱さ」に直面したときに克服しようとする態度や受容しようとする態度を育てる。

**７　本時の見どころ**

「弱さは克服した方がよい」という観念をゆさぶり、「弱さ」について考え、「弱さ」と向き合い自分なりに考える。

**８　本時の学習**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動と発問 | 〇予想される生徒の姿 | ◇働きかけ・意図・留意点 |
| 導入  ５分 | 前時のふり返り、内容項目の確認  １「弱さ（よわさ）」とはどんなものですか。 | ◯甘え  ◯嫌なことから逃げること  ◯すぐ病気になること | ◇自由に記入させる。考えにくい場合は、具体的な場面を思い出してみるよう提案する。 |
| 展開  ３５分 | 題材範読（７分）  　内容確認（口頭）  **中心発問：題名にある「弱さ」と戦わなければいけないのか。**  **発問（１）：戦わなくてもいい「弱さ」ってどんなものだろう。**  **発問（２）「弱さ」＝「悪」なのか。「弱さ」があったらダメなのか。** | ○「戦って乗り越えなければいけない。成長しないから。」  ○「乗り越えなくてもいい。無理する必要はないから。」  ◯「わからない。時と場合による。」  ○絶対ムリな課題をやりたくない気持ち  ○人の命がかかっているとき。乗り越えたら人が死ぬ、みたいな  ○「必ずしも『悪』ではない。『弱さ』を知ってたら、今は乗り越えられなくても、次のときに乗り越えようとできる」  ◯相手に「弱さ」があるって知ってるから優しくできる。 | **写真・功績掲示**  **◇揺さぶり**  **「世界一位になるくらいのすごい人でも、自分に負けたんだから、一般人の私たちは、仕方ないんじゃない？」**  **◇場面を想像しにくいときには、Ｐ９・10「そんなときは、」に注目させ、国枝選手の言う「自分の弱さと戦わなければいけない場面」を示唆する。**  **◇自己のみに視点が偏っていたら、「友だちや家族に『弱さ』があったら、責めるか」問う。** |
| 終末  １０分 | ５　本時の授業を振り返る。  今日の授業から「弱さ」に関して考えたこと、感じたこと、思ったことを書いてください。  チャイムで終業。 |  | ◇自分と向き合う時間を十分に確保する。 |

**９　板書計画**

　自分の弱さの克服

１　自分の弱さと戦え

「弱さ」と戦わなければいけないのか？

◯戦わなければいけない

　・自分の課題を克服しないと成長しないから

　・成長しないから

　・時と場合による―どんなとき？

「戦わなければいけない」

　・怠けたいとき（課題とか練習）

「戦わなくていい」

　・ムリな時（余裕がない、世界記録とか）

　・努力しつくしたけど、ムリだったとき

　　　「諦める」≠「逃げ」

「弱さ」＝「悪」？

　・必ず「悪」ではない。「弱さ」があるから、努力しようと思える。

　・「弱さ」があるから助けてあげたくなる。

国枝選手の

功績

国枝選手の写真

国枝選手の写真